



シーモックだより

令和3年度 第1号 令和3年 4月 23日発行
発行 社会福祉法人 しいの木会
住所 市原市糸久 45-2
電話・FAX 0436-63-3180
0436-63-4616
URL: <http://shiinokikaijimdo.com/>
blog: <http://blog.canpan.info/shiimokku/>
E-mail: shiinoki@pony.ocn.ne.jp

新年度が始まりました

満開に咲き誇っていた桜も、いつの間にか新しい葉が芽吹き、新緑がまぶしい季節となりました。まだまだ、不透明なことが多く、「いつも通り」とはならない日々が続きそうですが、前を向き、進んでいこうと思います。去年は、コロナの影響から様々な壁に直面し、その度に皆で悩み、考えてきました。誰もが一生懸命（何かを）頑張っていて、その頑張りで壁を乗り越えることができました。個々の力が、しいの木会の成長につながっています。これからも皆さんの力が必要です。しいの木会がこの地域で、いつまでも成長し続けられるように、力を合わせていきましょう。

ご家族、関係者の皆様には、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう
よろしく願いいたします。

理事長 渡邊 理香

令和3年度歓迎会 (4/13)



今年4月から生活介護の仲間に加わった、茂木 涼さんの歓迎会を行いました。新しい仲間が増えるということは、とてもうれしいことです。親睦を深めるため、当日はみんなで同じお弁当を食べ、終始笑顔で過ごすことができました。

これから茂木さんのことをたくさん知り、シーモックで楽しく過ごしてもらえるようにしたいと思います。
(支援員 齊藤 光恵)



～ 生活介護 ～

コロナ禍でたくさん我慢をしながら頑張っているみなさんに少しでも楽しんでもらおうと、お弁当持参で農業センターにお花見に出かけました。

お弁当は、みんな大好きなお寿司と茶碗蒸し、デザートはミルクレープです。

満開の桜と穏やかな陽射しに囲まれて食べるお弁当は格別で大満足でした。

緊急事態宣言は解除されましたが、マスクは必須、ソーシャルディスタンスには十分気を配り、楽しいひと時を過ごすことができました。早く安心して過ごせる日が来ると良いですね。

(支援員 土岐 ゆき江)



お楽しみ会 (3/26)



～ 就労 ～

自粛生活が続くこと一年余が過ぎ、待ちに待った『お楽しみ会』がやってきました。

午前中は農業センターで、しっかりソーシャルディスタンスをキープしながらお花見。一年間じっと耐えてきたご褒美に満開の桜が出迎えてくれました。

シーモックに戻り、ブルーシートを広げピクニック気分で昼食。食通では有名な『のうえんカフェ』特製ランチ弁当を青空の下いただきました。みんなの笑顔が満開になった春の一日でした。

(支援員 伊藤 英俊)



アリオ市原店様より

100周年記念の飴をいただきました
ステンドグラスのクッキーにして
おいしくいただきました



ありがとうございました

おねがい

4/29(木・祝)は、通所日となっています
通所を希望した方でお休みする時は、必ず連絡をください

イトーヨーカドー労働組合 アリオ市原支部様より



寄付金 ありがとうございます

【浄水器導入】

おいしい水がいつでも使用
できるようになりました



よろしくお祈いします

【新利用者】 生活介護 茂木 涼さん

長い間ありがとうございました

調理室 田中 孝平さん
生活介護 岩橋 多美江さん

シーモック

じゃがいも栽培日記

3月16日(火) 種芋を植え付けました



3月29日(月)
芽がでました



4月12日(月)
順調に育っています



【ウイルス対策】

リリーフシールド

(抗除菌・抗ウイルス機能
付きガラスコーティング)
を施工しました



新型コロナウイルス不活性化のエビデンスがあり、
効果が10年以上あるリリーフシールドを施工する事で、
対策コストを圧縮する事が可能です。

また、リリーフシールドは、接触感染の温床となる
『ドアノブ』や『共有PC』、『トイレ』など、
重点箇所をピンポイントで対策可能です！



※プチ・シーモック、グループホーム
も順次施工予定です

数日前の大雨のため予定より一日遅れでシーモック初
のジャガイモの植え付け作業を行いました。

予め準備した種芋や一輪車等の作業道具や長靴、ビニ
ール袋、軍手等を送迎車内に積み込み、いざ畑へ出発。

畑には5分程で到着。長靴に履き替え、手にはビニ
ール袋の上に軍手を重ね、準備はOK!! 畑に入り約30
cmの間隔で、種芋を置いて行きます。肥料を撒き、両手
で土をかけて植え付けが終了しました。

帰りの送迎車内では口々に“楽しかった”“早く収穫出
来るといいな”と弾んだ声が聞かれました。2グループ
室内での作業とは違い、屋外で土に触れる農作業を体験
した事で、利用者の皆さんがとてもリフレッシュ出来た
様です。

収穫までは草取りや間引き等の作業があり、何度も畑
に出向く必要があります。コロナ禍で外出がままならな
い中、利用者も職員も楽しみにしています。

(支援員 佐藤 友紀)